

2013 年 4 月 5 日刊行

『シリーズ 21 世紀の農学』  
「東日本大震災からの農林水産業と地域社会の復興」

日本農学会編

出版：養賢堂



日本における観測史上最大規模の地震による東日本大震災は、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらしました。その被害は建造物やインフラだけではなく、農林水産業の現場や農山・漁村等の地域社会へも大きく波及しました。震災から約 1 年半が経過し、被災地における復興が進みつつあります。また、改めて、震災がもたらした農林水産業ならびにこれらを含む社会基盤に与えた被害の状況や復興における問題も明らかになってきました。震災による被害やその後の産業・地域の状況について、農林水産業と地域社会の両面から被害・復興状況について紹介するとともに、政策面も含めて今後に向けた取り組みについて紹介し、農学の取り組み・可能性・使命について広く一般社会に提言しました。

本書は、その成果の概要を詳細にわかりやすくまとめ、充実した内容の 1 冊となっています。研究者はもとより、学生や一般の方々など関心のある方にもお奨めします。



◆体裁 A5 判 約 200 ページ

◆定価 2,000 円 (税込)



■主な収載項目■

- 第 1 章 「農地における塩害の概況と修復」 (東北大学 南條正巳)
- 第 2 章 「福島第一原子力発電所事故からの畜産業の復興のための家畜や畜産物の放射性核種汚染の実証的調査研究」 (東京大学 眞鍋 昇)
- 第 3 章 「水産業における震災からの復興」 (東京大学 八木信行)
- 第 4 章 「津波被災農地の雑草植生と復旧に向けた植生管理について」 (宇都宮大学 小笠原 勝)
- 第 5 章 「東日本大震災からの復旧・復興を目指した研究開発」 (農林水産省 西郷正道)
- 第 6 章 「震災復興を担う木造建築における地域材の活用の意義と可能性」 (秋田県立大学 板垣直行)
- 第 7 章 「地域コミュニティの現状と再建をめぐる課題」 (岩手大学 広田純一)